

ながと

市議会だより

Nagato City Council

6

月定例会

No.65

2022 (令和4年) 8/1



7月17日：2022 長門市通くじら祭り (3年ぶりの開催)

活動
紹介

長門市議会

和船競漕大会に参加

INDEX

- ▶ 6月定例会…………… 2～ 5ページ
- ▶ 第2回臨時会…………… 5ページ
- ▶ 一般質問…………… 6～ 10ページ
- ▶ 議会報告会～まちかどトーク～ …… 11ページ

14 議案を可決

6月 定例会

6月定例会は6月10日（金）から30日（木）までの21日間の会期で開きました。歳入歳出それぞれ4億6,811万円を追加（総額198億364万円）した令和4年度長門市一般会計補正予算（第2号）など14議案を審査し、すべての議案を原案のとおり可決しました。一般質問は14日（火）から15日（水）の2日間の日程で行われ、10名の議員が質問しました。

議案第1号▶ 令和4年度長門市一般会計補正予算（第2号）

コロナ禍における 燃油価格・物価高騰対策事業

昨年から続く物価高騰。ロシアによるウクライナ侵略が拍車を掛けています。特に原油・ガスなど資源価格の値上がりは深刻な状況です。全国の電気料金は5月から一斉に値上がり、食品では、小麦の価格高騰を背景としてパンや麺類などの値上がりが

顕著です。ティッシュペーパーやオムツなど日用品の一部も値上がりしました。

物価高騰は、市民生活を直撃し、社会不安を高めるリスクがあるため、対策が必要です。一般会計補正予算では物価高騰から市民生活を守るための事業費が計上されています。

▼燃油等の物価高騰は深刻な問題



コロナ禍における燃油価格・物価高騰等の影響を受ける漁業者に対し、燃料費の一部を支援することにより、水産業の経営維持・回復を図るものです。

2884万円

漁業者燃料費高騰対策支援事業

問 市内に事業所があるという条件と、法人においては本店が長門市にあるという条件を満たせば対象となるのか。

答 商工業関連の事業所だけでなく、福祉関連の事業所も対象となるのか。

コロナ禍における燃油等物価高騰に直面する市内事業者に対し、燃料費等の経費の一部を支援することにより、地域経済活性化を図るものです。

8053万円

燃油等物価高騰対策事業

問 ぶちとくながと生活優待券の購入方法を尋ねる。

答 長門商工会議所に返信用はがきを郵送し、購入を申請する。申請後に届く通知を持って、郵便局で優待券を購入する流れとなる。

コロナ禍における燃油等物価高騰に直面する市民への生活支援として、市内の店舗で使用可能な優待券を発行することにより、市民の負担軽減、地域経済活性化並びに地域活力の回復を図るものです。

6000万円

生活優待券発行事業

ぶちとくながと

問 昨年度12月補正で計上された漁業者経営回復緊急支援事業では、途中から山口県漁業協同組合の施設以外での給油も補助対象に変更された。そのことについては、今回の事業でも継承されるのか。

答 昨年度の事業は、基本的に漁協の施設で給油した方を補助対象にしていたが、市内のガソリンスタンドで軽油を購入し漁業活動に使用している漁業者もあることから、急遽その場合も対象とした。今回の事業についても同様に対応することになっている。

一般会計補正予算には、湯本温泉のトイレ設置やHPVワクチンの接種勧奨、小島漁港B防波堤の調査など、市民生活に深く関わり、市民の関心が高い事業が多くあります。

予防接種事業（HPVワクチン接種勧奨）

2742万円

HPV感染症に係る定期接種の積極的な勧奨を再開するとともに、勧奨を控えていた期間の対象者について、令和7年3月末までキャッチアップ接種を実施するものです。また、積極的な勧奨を控えていたことにより、機会を逃した平成9年4月2日から平成17年4月1日までの間に生まれた女子で、定期接種の期間

を過ぎて自費でワクチン接種を受けた場合には、接種費用の償還払いを行うものです。
問 キャッチアップ接種を行うということだが、対象者への周知方法を問う。
答 対象年齢の方で、定期接種3回のうち1回でも接種をしていない方に個別に通知をし、広報等でも周知することとしている。

長門湯本温泉観光

まちづくり整備事業

2935万円

湯本温泉駐車場に多目的トイレを整備するものです。

問 工事関係の備品が入手が読めないという情報もあるが、供用開始予定を問う。
答 落札業者にもよるかとは思いますが、トイレの部品に半導体が一つでも含まれていれば、納期は全く読めないと言われている。秋ぐらいまでに完成を思っていたが、今の情勢では年内に終わるのか、年度内なのか、または年度を越すのかわからない状況にある。

漁港施設整備事業

910万円

令和4年2月21日に倒壊した小島漁港B防波堤について、倒壊原因を見極め今後の対策の方向性を検討するための詳細調査を行うものです。

▼倒壊している三隅の小島漁港B防波堤



問 調査時期と、今後の対策の方向性について、いつ頃までを目途に決められるのか問う。
答 調査時期は議決後速やかに発注準備を行い、8月から調査と考えている。今後の方向性については、関係各所などと調整が必要となることからできるだけ今年度中を目途に考えていきたい。

登録文化財調査事業

40万円

日置の中野家本店・本宅を国の登録有形文化財に登録するため、その手続きに必要な建造物調査及び資料作成に係る経費を計上するものです。

問 国の登録有形文化財の登録手続きにおいて、登録に向けた動きが行われるに至る経緯について問う。
答 令和3年6月に山口県教育長及び長門市教育長に対し、中野家本店及び本宅を国の登録有形文化財に登録することについて要望書が提出されている。

中野家本店及び本宅は大正7年に建設され、建設後100年を経過しており、地区の歴史の景観に寄与しているものと考えている。

6月定例会議決結果

議案番号	件名	結果
1	令和4年度長門市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
2	令和4年度長門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
3	長門市6次産業化支援施設条例	原案可決
4	長門市総合文化財センター条例	原案可決
5	長門市ケーブルテレビ放送センター条例及び長門市ケーブルテレビ放送施設の通信線路と同一の線路を使用するインターネット接続サービスの管理及び利用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
6	長門市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

議案番号	件名	結果
7	長門市証明等手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
8	長門市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
9	長門市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
10	長門市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
11	長門市歴史民俗資料館条例を廃止する条例	原案可決
12	訴えの提起をすることについて	原案可決
13	萩・長門清掃一部事務組合規約の変更について	原案可決
14	財産の取得について（災害対応特殊消防ポンプ自動車）	原案可決
報告1	公益財団法人長門市文化振興財団の経営状況について	-
報告2	一般社団法人アグリながとの経営状況について	-

市有林の損害賠償請求へ

▼議案第12号 訴えの提起をすることについて

議案第12号の審査では、総務民生委員会と文教産業委員会による連合審査会を開きました。

この議案は、市有林の無断伐採に係る損害賠償を請求するためのもので、当事者は原告が長門市、被告が7名（相続人を含む）となります。無断伐採された面積は1・84ヘクタール、木の種類はスギ、本数はおよそ1400本であり、損害賠償額は立木損害額、森林復旧費用、弁護士費用相当額を含めて合計127万8千589円です。

訴訟に至る経緯

令和元年8月に三隅上地区の市有林が無断伐採されていることを確認。無断伐採に関わりがあると思われる関係者に対し、聞き取りや現地確認への同行など、事実関係を慎重に確認しました。しかし、解決の目途が立たないことから、今回市有林の伐採に関わりの

あると考えられる者全員に対して、訴えを提起すると判断に至りました。

市有林の管理体制は

審査において「無断伐採の事実を把握するまでに約4年間経過した理由」について質疑があり、「今回無断伐採された市有林は、見通しが悪く伐採の確認が困難な場所であった。市有林監視人制度が機能していない面があったと反省しており、市有林監視人に対し注意喚起、さらに指導をしている」との答弁がありました。

関係者の刑事責任は

また「刑事告発しなかった理由」について質疑があり、「刑事事件であれば盗伐ということになるが、盗伐は市有林であることを知った上で故意に伐採することであり、顧問弁護士とも相談して、刑事事件とするには立証が困難であると判断したため」との答弁がありました。

さらに「被告の一部が準公共の仕事を受け負ったことに対する見解」について質疑があり、「現段階で、その責任範囲が明確になっていない中、請負等について判断する時期ではない」との答弁がありました。



▲再発防止を求める要望書を市長に提出

議会ひとくちメモ

連合審査会とは

連合審査会とは、特定の案件について関連のある委員会が共同で審査することをいいます。付託委員会以外の委員の参加により審査を幅広く、深く行うことができます。

総務民生 委員会

民事訴訟へ踏み切ることを承認

連合審査会の質疑を踏まえて、本委員会の討論では、「違法伐採に対する損害について、市民の生活と財産を守る上でも、訴えの提起をすることは当然の行為であり理解するところである。市においてはこの事案について改めて検証し、職員が

公務員としての使命、社会的責任について深く認識し、二度とこのような事案が発生しないよう実効性のある再発防止策を速やかに講じ、徹底することを強く求める」との賛成意見があり、全会一致で可決すべきものとしました。

利用料金を改定

▶議案第5号 長門市ケーブルテレビ放送センター条例等の一部を改正する条例 (議案名の一部を省略)

この議案は、市内全域において光ファイバー網整備事業が完了する見込みであり、それに伴い、施設の追加及び利用料等の改定を行うため、所要の改正を行うものです。

審査において「料金プランの改定により必要となる手続き及び周知」について質疑があり、「今回の改定により新たな手続きは生じないが、料金

プランの変更を希望する場合は手続きが必要となる。周知に関しては、料金改定を来年4月1日の予定にしているのものでそれまでの間、改定内容について分かりやすくまとめたものを市ホームページや広報に掲載するとともに、指定管理者の様々な媒体も活用しながらしっかりと行っていきたい」との答弁がありました。

「ながとラボ」を公営に

▶ 議案第3号 長門市6次産業化支援施設条例

この議案は「長門市6次産業化支援施設」を公の施設として位置付けるため、条例で必要な事項を定めるものです。

審査において「施設の目的および開館日時」について質疑があり、「施設の目的は、商品開発の促進と人材の育成、少量多品種の農林水産物の付加価値を高めることによって農業漁業従事者の所得増大を推進するとともに、地域産業の振興を図ることであり、開館日時は申請に基づき、市長が必要と認めるときは、都度変更できることとして



いる」との答弁がありました。

また「今後の施設運用に関する見解」について質疑があり、「より多くの、かつ、より高付加価値な商品の開発のため、そして1次産業従事者にとって敷居の低い施設にするため、公の施設へと方向転換することにした。評価指標等を設定し、市民に、どういったところを目指すのか、どういうことを受託事業者が担うのか、議決後すぐに周知を図ってまいる」との答弁がありました。

名称は「ヒストリアながと」に決定

▶ 議案第4号 長門市総合文化財センター条例

この議案は「長門市総合文化財センター」を公の施設として位置付けるため、条例で必要な事項を定めるものです。

審査において「観覧料を無料とした理由」について質疑があり、「本市の自然や歴史、文化の拠点施設として市民が気軽に何度も来館し、学び、伝え、交流ができ、また観光客など多くの人々が集える施設とするため、観覧料は無料とする」との答弁がありました。

また「施設の愛称を公募しなかった理由」につ

いて質疑があり、「愛称の公募は、長門市歴史民俗資料館整備運営検討委員会から市の裁量に任せると答申があった。本市の史実を次世代に伝えていきたいという市の強い思いから、『ヒストリアながと』とした」との答弁がありました。

さらに「センター長の設置」について質疑があり、「センター長は、センターの管理運営のみならず、文化財行政全般にわたる所管をすることから生涯学習・文化財課長が兼務する」との答弁がありました。

第2回臨時会

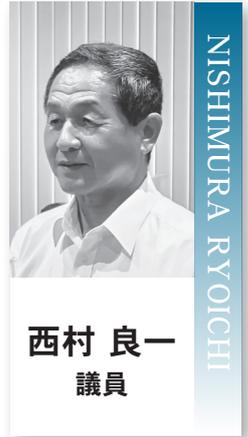
■ 議決結果 ■

議案番号	件名	結果
1	令和4年度長門市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
2	専決処分の承認について(長門市税条例等の一部を改正する条例)	承認
3	専決処分の承認について(長門市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
報告1	令和3年度長門市一般会計予算に係る繰越明許費繰越計算書の報告について	-
報告2	令和3年度長門市水道事業会計予算に係る建設改良費繰越計算書の報告について	-
報告3	令和3年度長門市下水道事業会計予算に係る建設改良費繰越計算書の報告について	-
報告4	専決処分の報告について(工事請負契約の一部を変更することについて)	-

令和4年5月27日(金)、令和4年第2回臨時会を開きました。議案第1号「令和4年度長門市一般会計補正予算(第1号)」は、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業の予算措置を講ずるもので、4353万円を追加し、総額193億3553万円とするものです。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、食費等の物価高騰等に直面している実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、対象児童1人あたり5万円の給付金を支給するものです。

子育て世帯の生活支援



NISHIMURA RYOICHI

西村 良一
議員

小・中学生の登下校時の
交通安全対策は

問 小・中学生の登下校時における見守り活動と、交通安全対策について問う。

答 一部の地区ではウォーキングや犬の散歩を下校時間帯に合わせる取り組みがあるが、こうした見守り活動を多くの方に協力して頂けるよう働きかけを行いたい。各学校では警察と連携し「手上げ横断」をはじめ安全な道路横断の仕方や歩行中のマナー、自転車の正しい乗り方等の交通法規を指導している。

不要漁具の処分支援等
漁業者の負担軽減を

問 漁業者が使用し、不要になった漁具等、特に漁網の処分について支援はできないか。

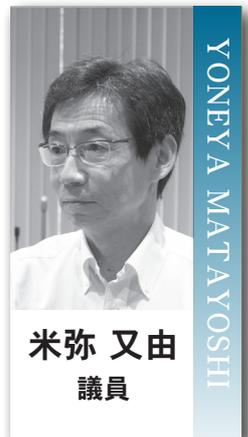
答 計画的に処理するためには、漁業者のみならず漁業活動の

支援者である漁協を主体として、漁業系廃棄物に係る発生量、発生時期等を把握、整理し、処理計画としてまとめることが必要であり、市も加わり支援していきたい。また、素材としての再利用、商品化等にも期待している。

問 広報紙掲載や漁具バンクを設けて、漁網が不要になった人と欲しい人を結び付ける取り組みを行うことはできないか。

答 市民に周知するため広報紙への掲載は可能である。漁業者、漁協、市が連携し、使用済み漁具バンクの設置や素材としての再利用に係る仕組みづくりを行うことで環境の整備が促進されると考える。

▼漁網等の処分・再利用への支援が期待される



YONEYA MATAYOSHI

米弥 又由
議員

デマンド交通の
現状と今後の取り組みは

問 デマンド交通は、実施をする中で試行錯誤を重ね、利用しやすい地域交通体系の構築が重要と考えるが、現在の利用状況はどうなっているのか。

答 令和3年度の各地域での利用状況は、全7地区で利用人数が合計8138人、運行日1日あたり6.4人の実績である。本年度以降も徐々に伸びている状況であり、地域公共交通体系の再構築は令和4年度末で一旦完了となるが、ゴールではなくスタートであると考えている。

問 デマンド交通を利用された方が多かったのか、それに対してどう対応したのか。

答 日置・油谷地区で午前中の戻り便が必要との要望があり、本年4月から午前中の戻り便を追

加している。通地区では通学時のバスの時間帯が早くなったことから、朝の通学生優先便を導入した。また13時出発便は青海島地区内のみで運行であったが、市街地まで延長する見直しを行った。

問 デマンド交通を実施している地域では、利用方法の説明が徹底されていないかとの意見を聞いている。今後、新規に実施する地域に対し、きめ細やかな周知徹底をすべきではないか。

答 周知不足は多くの方から指摘を受けている。「□ナ禍ということもあり、自治会長や民生委員を通じて説明会を開催した。今後は、より丁寧な説明が必要であると考えている。

▼運行中のデマンド交通





一般質問



TANAKA CHIAKI

田中 千秋
議員

バリアフリーを推進し 質の高い観光地へ

問 公共施設におけるバリアフリー対応の認識を問う。

答 まだまだ不十分と認識している。本市においても、全ての人が安全で安心して快適に利用できる施設づくりを進めていく。

問 オストメイトの外見は一般健康者とあまり変わらないため、障壁が見過ごされやすく、情報の共有や発信、対応トイレ設置など、支援が足りていないので対応すべきではないか。

答 市の施設において、オストメイト対応トイレを把握して周知を図る必要性があるので、直ちに検討する。また、身体障害者手帳交付時に対応トイレのある公共施設の一覧表の配布準備を進める。公衆浴場へのオストメイトの入浴のマナー、ルールについても併せて周知していく。

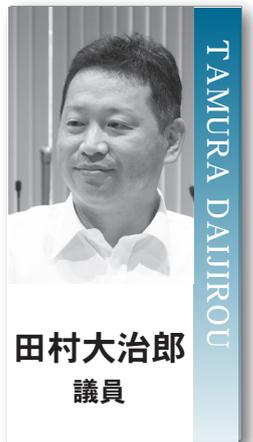
問 観光地の質を高めるためにも県内にはないバリアフリー旅行相談窓口が必要ではないか。

答 満足度の高い充実した「ながと時間」を創出するためには、相談窓口の必要性を感じており、県や障害者団体、市の観光コンベンション協会などと連携し観光に関する相談や案内のあり方について研究していく。

問 選ばれる観光地としてユニバーサルツーリズムの推進について問う。

答 全ての人が快適に利用できる観光地づくりのため、様々な関係機関や団体と連携をし、進めていくつもりである。

▼センザキッチンのおストメイト対応トイレ



TAMURA DAIJIROU

田村大治郎
議員

すべての不登校児童生徒に 教育機会の確保を

問 教育機会の確保等の意義と本市の現状について尋ねる。

答 不登校は、その要因・背景が多様であり、その行為を問題行動と判断してはならないという考えの下、児童生徒に寄り添い、共感的理解と受容の姿勢を持つことを重視している。

多様で適切な教育機会の保障を再確認し、具体的には、学校復帰という結果のみを目標とせず、個々の状況に応じた支援をしつつ、社会的自立を目指している。まずは十分な実態把握に努め、保護者や各学校、教育支援センター、専門家等と連携し児童生徒一人ひとりに適切な支援に努めている。

問 不登校は本人や家族、対応する教職員にとって解決が難しく、ときには命に関わる重い問題である。様々な立場の当事者への支援を今後どのように行うか。

答 学校に行けないことで自責の念に苦しむ児童生徒がいる。また、我が子の将来を案じ、悩み、負い目を感じたりする保護者もあられると思う。不登校は問題行動ではなく、どの子にも起こり得るもの。不登校児童生徒と保護者に寄り添った支援をしていきたいと考えている。

ながとラボとの連携強化で 生産者の所得向上を

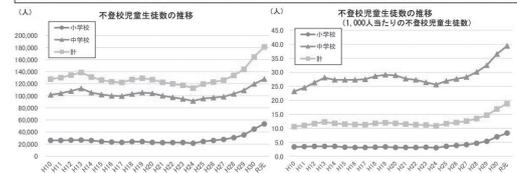
問 関係施設の連携をどのように支援していくか。

答 域内循環の促進による高付加価値化を具体化していくことから、取り組みを支援する体制を産業戦略課を中心に構築していく。

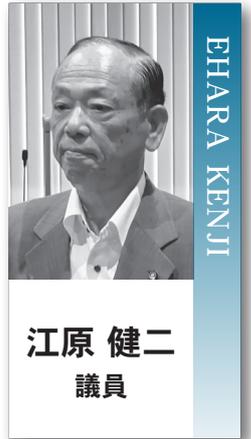
▼文科省による不登校実態調査

小・中学校における不登校の状況について

小・中学校における不登校児童生徒数は181,272人（前年度164,528人）であり、1,000人当たりの不登校児童生徒数は18.9人（前年度16.9人）、1,000人当たりの不登校児童生徒数は、平成10年度以降、最多となっている。



学年	不登校児童生徒数(上段)と1,000人当たりの不登校児童生徒数(下段)									
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
小	101,876	104,908	107,914	112,017	116,021	120,025	124,029	128,033	132,037	136,041
中	79,400	80,620	81,840	83,060	84,280	85,500	86,720	87,940	89,160	90,380
計	181,276	185,528	189,754	195,077	200,305	205,534	210,763	216,993	222,223	226,421
1,000人当たり	18.9	19.5	20.1	20.7	21.3	21.9	22.5	23.1	23.7	24.3



河川浚渫・護岸の対策は

問 河川の整備・維持管理についてどのように認識し、今後の対応はどのようにするか。

答 パトロール等による河川点検を実施し、河川浚渫や修繕が必要な護岸等の整備を行うとともに、県緊急浚渫推進事業により計画的に河川浚渫を行っている。

問 長門市の管理する河川の浚渫要望の状況及び対応はどうか。

答 27河川の浚渫要望があり、令和3年度は11河川、4年度は6河川、残りの10河川は5年度から6年度で実施する。

問 河川浚渫はどのような優先順位で実施しているのか。

答 現地の詳細調査により、阻害率を算出し、河川規模や影響する流域の家屋や道路の状況も考

慮して決定している。

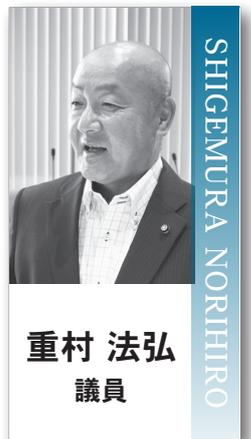
問 河川の護岸の老朽化対策はどのようにしているのか。

答 日常点検や住民の情報提供により修繕箇所把握に努め、小規模な整備は随時行い、災害復旧事業等を活用して対応している。

問 防災の観点から、広域的防災・治水対策はどうか。

答 減災対策協議会や流域治水部会を設置し、深川川、木屋川、三隅川を対象に河川浚渫、河川監視カメラ、水位計の設置、防災教育の推進等のハード・ソフト対策に取り組んでいる。

▼台風で増水した川の様子



施設の多目的利用促進を

問 俵山多目的交流広場は、ラグビーワールドカップ2019日本大会、昨年の東京五輪女子ラグビーの事前キャンプ地として国際交流の場となり、長門市を国内外に発信できた。今後の施設運営についてどう考えているのか。

答 現時点では世界大会規模の大会は予定されていない。誰もが利用しやすく利用したくなる施設を目指し、ラグビーに限らず、社会人のスポーツチーム合宿等知名度向上、施設の利用促進を図る。またスポーツ大会等の誘致は、ながとスポーツコミッションが引き継いでいく。

問 西消防署の体制は十分か
また改築移転先はどこか

答 消防は市民の生命と財産を守る要であり、その役割は多岐にわたる。消防体制の充実、強化について市長の考えは。

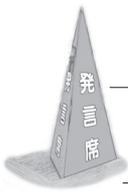
答 近年、全国各地で様々な災害が発生している中、消防機関は市民の生命、身体、財産を災害から保護し、被害を軽減することが最大の任務であり、市民の安全を確保する上で必要不可欠な機関であることから消防体制の一層の充実強化に努めていく。

問 西消防署の体制は十分なのか、移転についてはどこを考

答 消防力の確保を念頭に置き、適正人員を検討していく。老朽化が非常に激しく、早急な対応が不可欠な西消防署の移転について様々な角度から検討した結果、ラポールゆや付近の高台に新築移転したいと考えている。

▼市民の安全を確保する長門市西消防署





一般質問



HAYASHI TETSUYA

林 哲也
議員

子育て支援の取り組みは

問 市長は、当初予算に新規計上されたハローベビー応援給付金事業が議会で認められなかったことについて、どのように受け止めているのか。

答 また、市長は「本市の人口減少、少子化問題は待たなしの喫緊の課題として強い危機感を持っている」と述べている。現在、生活必需品の値上がりなどが市民生活、とりわけ子育て世帯を直撃している中で、学校給食費の無償化など今後の子育て支援策をどのように展開する考えなのか。

答 本事業の趣旨が理解されなかつたことは非常に残念であり、これから予算決算委員会での審査における各委員の質疑内容や意見を踏まえ、人口減少、少子化に対応するために必要な施策をしっかりと検討したい。

子育て世帯の経済的負担を軽減する取り組みとして、国、県の支援制度を十分に活用することを基

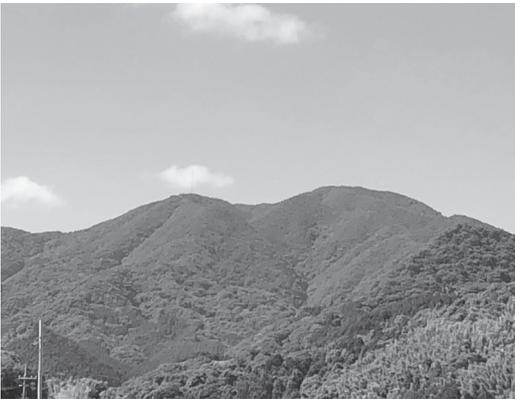
本とし、今後とも国、県の子育て支援策の動向を注視することともに、子育て世代の声をしっかりと聞いて施策に反映させていきたい。

風力発電事業に 反対や不安の声

問 長門市と美祢市の境にある天井山などの稜線沿いに民間事業者による風力発電所の建設計画が進められている。住民から反対意見や不安の声が相次いでおり、市としても風力発電事業計画に対して賛同できないのではないかと。

答 地元住民の理解と同意が得られていない現在の状況においては、市として事業計画に賛同できない立場にはないと考えている。

▼事業者は6月17日、発電事業の凍結表明（天井山）



HISANAGA SHINYA

ひさなが信也
議員

長門市駅周辺の街づくりは

問 長門市駅周辺は、長門市の中心街であり活性化を図っていくかなければならない地域である。駅北・南地区を一带として価値を高め、地域産業の活性化を図り、にぎわいを再生していくための取り組みについて問う。

答 現在、長門商工会議所に対する運営費補助金を増額し、連携強化・事業支援を行っている。併せて、全国の成功例を参考としてワークショップやセミナーの開催などを通じ、知識と見識を蓄積する取り組みも必要であると考えている。にぎわいを再生していくために、駅北・南地区の住民や事業者とも必要に応じて、しっかりと意見交換しながら取り組んでいく。

問 市民の間で関心の高い、長門市駅南口の旧ウェブの活用について、把握している状況を探る。

答 現時点において、具体的な検討の経緯や進捗状況については把握していない。

問 市民、特に近隣の方からは心配や不安の声を聞いている。だからこそまちづくりミーティングを行うべきだと昨年申し上げた。地域の方がどんなことを不安に思っているのか、直接聞いてほしい。まちづくりミーティングをいつ開催するか問う。

答 駅南口を対象としたまちづくりミーティングは、ウェブの跡地利用に関する問題等もありタイミングについては図っているところだが、時期については担当課のほうでしっかりと調整していきたい。

▼長門市駅南口旧ウェブ周辺の今後は





先人がつくり上げてきた
歴史文化を後世に

問 長門市総合文化財センターは9月にオープンするが、施設が果たす役割をどのように考えているのか。

答 市全体の自然・歴史・文化施策の拠点として、人々の交流を図りながら本市の魅力を学び、伝え、未来へ継承する事業を展開すること考える。また、本市の重要な文化施設へ来館者を誘導するためのガイダンス機能を持った仕組みを作りたい。

問 令和元年12月に歴史民俗資料館整備運営検討委員会から提出された答申内容はどのように反映されたのか。

答 新たな特別収蔵庫や出土品収蔵庫等を整備し、展示についてはレイアウト変更が容易に行えるようにしている。また運営に必要な人員の体制整備に努めている。

▼9月1日オープンの長門市総合文化財センター



問 古文書を読み込む学芸員がいないと聞けが、その確保についてはどう考えているのか。

答 古文書を解読する必要性は十分認識している。職員配置を含め、深い見識を有する方や大学等への委託などを総合的に検討していく。

問 長門市総合文化財センターの果たす役割を示すためにも、これから取り組む目標や、文化財の保護・活用に関するアクションプランである文化財保存活用地域計画の策定が必要ではないか。

答 必要であると認識しているが、費用と時間もかかることから、しっかりと準備をしていきたい。



模範となる障害者施策を

問 障害者の親の高齢化や本人の収入が少ないなど、障害者の生活は依然苦しい。新たな独自の政策が長門市重度心身障害者福祉手当金額の拡充は考えられないか。

答 年金制度のような独自の支援は財政的に難しく、就労等による自立機会の拡大に重きを置きたい。福祉手当の拡充は廃止や縮小した市もある中で現時点では考えていないが、研究はしたい。

問 全国各自治体で手話通訳等をつける対応が広がり、県内のいくつかの自治体でも市長会見で手話通訳を導入したが、本市の市長会見では未設置である。聴覚障害者への取り組み強化や市長会見への手話通訳導入の考えはないか。

答 市内のイベント等で手話通訳者等の派遣を利用するよう各課に周知している。可能な限り、市内のイベントや市長会見に手話

通訳者・奉仕員が対応できるように努めていきたい。

問 第6期障害者福祉計画のアンケートで「長門市身体障害者スポーツ大会を（中略）より多くの障害者や地域住民ボランティアが参加する大会となるような事業展開をして欲しい」とあったが、身体障害者スポーツ大会の再構築を検討してみてもどうか。

答 本大会だけでなく、まつりやイベントとの複合化も視野に入れ、多くの障害者や地域住民のボランティアが参加交流する取り組みになるよう、委託先の身体障害者福祉協会や長門市社会福祉協議会ほか関係団体を巻き込んで、今後のあり方を協議していきたい。

▼身体障害者スポーツ大会の様子



まちかどトーク

令和4年度

市民と議員が語る議会報告会

市内
6会場で
開催しました

令和4年度の議会報告会は、6グループに分かれて各自治会にて開催させていただく計画です。まずは5月発行の「議会だより」にあわせて報告会を6会場で行いました。寄せられたご意見、ご要望ご提案の一部を紹介いたします。いただいた声は今後の議会活動の参考にさせていただきます。



河原浦自治会（油谷地区）

5/21

- ・水害対応のための土嚢ステーションを設置してほしい。
- ・油谷地区の道路改良等にも目を向けてほしい。
- ・センザキッチン、元乃隅神社、湯本温泉等が連携し、市全体として観光を推進発展するような施策を望む。



兔渡谷自治会（三隅地区）

5/14

- ・猪の獣害対策として電柵等の対策もしているが、故障の原因となる川沿いの竹を伐採してほしい。
- ・狩猟免許の取得促進を望む。
- ・女性が安心して子育てしながら活躍できる環境整備してほしい。
- ・全国が注目するような議員活動を望む。

川尻西自治会（油谷地区）

5/29

- ・傾斜地で路地も細く急なため、高齢者がごみを持って上り降りしてゴミ出しをしなければならない。
- ・手すりや転落防止柵がない路地があり、お年寄りの転落事故が起きているため、対策をしてほしい。
- ・路地横の水路の陥没から石垣への破損が広がっており、対応してほしい。

江良自治会（深川地区）

5/26

- ・ハローベビー事業について、萩のように、成長に合わせて段階的に給付していけば良かったのではないかと。多子世帯への支援は大事。
- ・消防職員が少ないのではないかと。
- ・楽踊りを継承していくために、補助金の増額等、予算を考えてほしい。

東津黄自治会（油谷地区）

6/27

- ・落石防止工事により長期間全面通行止めになるが、住民生活と観光客への影響をどう考えているのか。
- ・少子化問題について3市合同の縁結び事業の進捗はどうか。
- ・津黄は災害時の孤立が不安であるため、物資の備蓄をしてほしい。

長行自治会（日置地区）

6/20

- ・市長の施政方針は各部署職員まで浸透しているのか、行き届いているのか。
- ・センザキッチンは売り場に活気がなく、挨拶もない。リピーターを増やし、外貨を稼ぐ施設であってほしい。
- ・高齢化で民生委員の選出に苦慮している。自治会に丸投げでは困る。

追悼

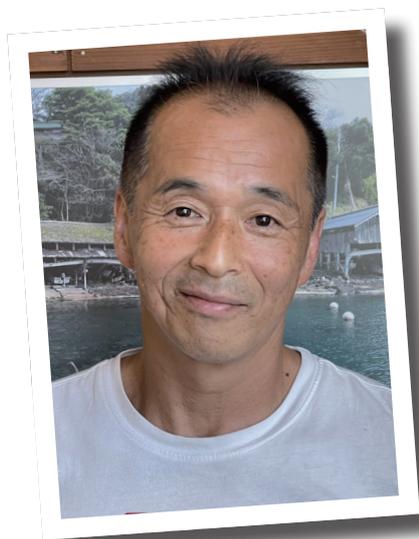
令和4年7月8日、安倍晋三元内閣総理大臣が街頭演説中に銃撃を受け、逝去されました。突然の悲報に接し、驚きと悲しみにたえません。謹んでお悔やみを申し上げますとともに、心から哀悼の意を表します。

安倍元総理におかれましては、歴代最長の在任期間の中で、我が国が直面する困難な諸課題に懸命に取り組み、数々のご功績を残されました。また、地元選出の国会議員として長門市の発展に多大なるご尽力をいただいたこと、深く感謝申し上げます。今回のような痛ましい事件が二度と起こらないように、銃器犯罪を含めあらゆる暴力の根絶を図り、安全安心な社会の実現に向けて、国を挙げて全力で取り組まれることを強く求めます。



▲市役所で記帳する江原市長と南野議長

まちな声



嶋田日直男 さん (63歳)
油谷河原在住
(NPO 法人おかつく)

Q議会だよりを読まれたことがありますか？

Aあります。

Q市民の声が市政に活かされていると思いますか。

A市民の声？市民10人いれば、10通りの声があるわけで、その声を全て、市政に活かす。まず不可能でしょう。ですから活かされている部分もあれば、まだまだの部分もある。「市民の声」についても、現役世代（子育て真っ最中）の方々の声が聴ける環境づくりが必要なのは。この世代が、今の長門市を支えているのであり、その子供たちが将来の長門市を担うわけですから。

Q議員や議会にのぞむことを教えてください。

A個々の議員さんとしては、それぞれ、出来ることをされているのかなとは思いますが。さて、市政の両翼（執行部・議会）の一翼となるとどうでしょう。会派とは言いませんが、時には、政策グループ等を形成し、市政（政策）に対して、良い意味での緊張感を与えるようになってほしいかな。何か、メリハリが…。

Q長門市のPRをお願いします。

A過疎、高齢化、いいじゃないですか。チャンスですよ。みんな元気で、自立した長門市ですよ。目指していきましょう。

編集後記

▶久しぶりに家族がそろった。たわいない会話と食事。幸せと感謝の時間である▶未だ続く感染症対策や家計直撃の物価高騰に、これまでなら愚痴を言っていたかもしれない。しかし、ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻の映像を目にすると考えてしまう。安全と安心は必ず

しも保障されてはいない▶8月15日は77回目の終戦記念日である。戦争の誤りと惨禍を反省し、平和を誓うとして、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」と閣議決定もされている▶誰もが日々を大切に生き、幸せについて考えられる、平和な社会が続くことを心から願う。(早川)

ながと市議会だより
発行／山口県長門市議会
編集／議会広報広聴特別委員会

委員長	綾城美佳
副委員長	ひさなが信也
委員	林哲也
	早川文乃
	田村大治郎
	松岡秀樹
	米弥又由
	田中千秋